

グローバル人材の育成に向けてー英語教育の充実ー

本年3月に、「熊本県教育大綱」及び「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」が改訂されました。その中では、基本方針の一つとして、「ふる

さとを愛する心を持つグローバル人材を育成します」と掲げられ、その取組の一つとして「外国語教育、国際教育の充実」が掲げられています。

そうした県の方針を受けて、様々な研修が行われており、本校でも、授業改善に取り組んでいるところです。今回はその様子を紹介します。



三校合同研修会の様子

人吉球磨のことを英語で伝えようー三校合同研修会ー

11月18日(木)、市内中学校三校の英語の先生方及び二中校区の小学校の英語担当の先生方を集めて研修会が開催され、本校の三宅教諭とALTのコウディ先生が1年生の授業を公開しました。

人吉球磨にはどんな場所があるかということ、英語で紹介できるようになるという目標に向けて、基本的な文法などを学ぶ時間でした。

生徒の皆さんは、お互いに自分で考えた町を紹介し合う

活動を通して、基本的な文章をつくって表現したり、友達が言っていることを聞いて書き取ったりしていました。

このように、グローバル人材に向けて毎日一歩ずつ前進しています。

授業力向上に向けて -県教委の施策その①-

県教委では、先述した「大綱」や「教育プラン」を受けて、様々な施策が施行されています。

その中の一つとして、先生方の授業力の向上に向け、県内で選ばれた数名の先生方の授業が、動画でネット配信されています。(学校限定になっておりますので、一般の方は閲覧できません。)

その先生方の一人に、本校の今村教諭が選ばれ、先日2年4組の授業が撮影されました。

生き生きと英語で会話を繰り返す生徒を見て、撮影に来られた県教育委員会の先生方からも称賛の声が聞かれました。



授業の撮影の様子

Super English Camp -県教委の施策その②-

9月と11月の2回実施され、本校からも数名が参加しました。

このキャンプでは、中高生が「学ぶ」ことについて深く考え、外国語指導助手(ALT)や留学生と英語によるディスカッション等を通して、英語による発信力(話す・書く)を強化することを目的として実施されました。

県立大学の協力により、留学生や大学生と英語で熱く語り合っていました。